

# 愛知県でも高病原性鳥インフルエンザ発生！

## 【25例目 農場概要】

所在地：愛知県豊橋市

飼養状況：採卵鶏（約31万羽）



## 【経緯】

- (1) 12月4日、農場から死亡羽数増加の通報を受け、立入し、簡易検査陽性。
- (2) 12月5日、遺伝子検査の結果、疑似患畜であることを確認。

なお、鹿児島県でも継続発生しています。

## 【24例目 農場概要】

所在地：鹿児島県出水市、飼養状況：採卵鶏（約3.4万羽）

令和4年11月28日 家きん疾病小委員会  
「高病原性鳥インフルエンザの続発を踏まえた緊急提言」より抜粋

- ① 鶏舎に出入りする従業員等に、消毒、長靴交換等の重要性を説明し、適切に消毒や長靴の交換ができていないか再度確認すること。
- ② 農場敷地内や鶏舎周囲の消毒を毎日行うこと。また、消毒はため池等の水場を意識し、その近くはリスクが高いことから、徹底して消毒を行うこと。
- ③ 猫やイタチ等の小動物や野鳥等が農場内に近づかないような対策を講じること。
- ④ 開放鶏舎のみならずウインドウレス鶏舎のように、一見隙間がないように思われる鶏舎であっても、飼養衛生管理者と鶏舎構造を熟知している者等が連携してねずみや猫をはじめとした野生動物等が侵入しそうなルートを探し侵入防止対策を講じること。
- ⑤ 鶏舎の出入りの際に本病ウイルスを鶏舎内に持ち込むことのないよう衛生管理区域に入る際の適切なタイミングでの専用衣服の着用、鶏舎ごとの専用長靴の設置、手指消毒及び長靴の消毒・交換等の適正な衛生管理が日常的になされているか再度確認すること。
- ⑥ 消毒を行う際は、長靴等の汚れを落としてから行うとともに、消毒薬は汚れた都度、最低でも1日1回以上交換し、消毒薬が有効な状態での使用を徹底すること。
- ⑦ 長靴の交換の際は、交差汚染を防ぐため鶏舎外と鶏舎内で使用する長靴の動線が交わらないように注意すること。

野鳥は 14道県(通算81例) \* 12月2日時点 環境省発表

中濃家畜保健衛生所(高病原性鳥インフルエンザ相談窓口)

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。